

下記日程等により、和歌山市内に所在する4公的病院と県病院協会長、和歌山県（健康局）による意見交換会を開催し、『2025プラン』等に関して協議を行った。

(1) 開催日時 : 平成29年9月13日(水) 17:00～

(2) 意見交換会出席者 :

- 和歌山市内に所在する各公的病院の代表者
  - ①県立医大附属病院、 ②日本赤十字社和歌山医療センター、
  - ③済生会和歌山病院、 ④和歌山労災病院
- 公益社団法人和歌山県病院協会長
- 和歌山県健康局長・医務課長

(3) 意見交換内容 :

- ◆『公的医療機関等2025プラン』の策定に向けて
- ◆「高度急性期」及び「急性期」の病床機能について
- ◆公的医療機関等の今後の病床機能分化、連携等について

(4) 主な配付資料 : 次ページを参照

(5) 主なご意見等 :

- 各公的病院にあっては、高度急性期機能・急性期機能を中心として引き続き、地域において必要とされる医療を提供していく責務。
- 『2025プラン』の策定及び調整会議における意見交換を通じて、まずは、各公的病院が今後担っていく医療機能を示した上で、民間医療機関も含めた地域全体の機能分化・連携に関する議論を深めていってはどうか。
- 「高度急性期機能」と「急性期機能」の境界や定義等に関して。(意見交換)

# 和歌山保健医療圏構想区域における現状の病床数等について

和歌山保健医療圏構想区域においては、県都・和歌山市内に主要な4公的病院（①県立医大附属病院、②日赤和歌山医療センター、③済生会和歌山病院、④和歌山労災病院）が所在し、高度急性期機能や急性期機能の医療を中心に担っている現状。⇒**県と4公的病院との意見交換会を開催し、今後の方向性を議論。**

